

官公庁 4.0 研究会 第 1 回研究会 開催報告

1 開催概要

日時： 2024/8/31 (土) 14:00~16:00

場所： オンライン (Zoom)

テーマ：自治体統一システム構想と地方自治のあり方

講演者：岩崎和隆 (神奈川県職員、官公庁 4.0 研究会主査)

参加費：情報システム学会の会員、非会員ともに無料

2 参加者

(1) 事前申込 83 人

(2) 参加者 65 人 (事前申込のない参加者を含みます。)

(3) 事前申込に対する参加率 78%

3 講演概要

自治体統一システム構想と地方自治のあり方を検討するにあたり、まず、憲法改正をしない、かつ、国際条約の改正や脱退は考えないという前提をおいたときに、どのようなことが考えられるか、情報システムと行政学、行政法学の視点から講演者の考えを説明しました。

まず、国が進めている「自治体情報システム標準化・共通化」(以下「標準化・共通化」と言います。)について、2000 年 4 月の第一次地方分権改革から標準化・共通化が始まるまでを振り返るとともに、標準化・共通化の目標自体と現時点におけるプロジェクトの QCD を評価しました。

この評価を踏まえ、自治体統一システムでは、次のことを提案しました。

- (1) 国民・住民が申請しなくても金銭給付を受けられるようにすること、窓口に行くことを最小限にすることの実現を目指す
- (2) 自治体のシステムを統一し、自治体の規模別に最大 3 個くらいに集約する
- (3) 住基ネット判例でデータベースの一元管理が禁止されているので、データベースの設計は 1 つとするが、そのデータベースをいくつか分割する
- (4) 一部自治体で先行実施してから横展開する

(5) 計画の策定と実施に十分な期間をかける

4 質疑応答

6 人の方からご質問やご意見をいただき、活発な質疑応答ができました。

5 参加者アンケートの実施

今後の本研究会開催を改善するため、無記名の参加者アンケートを実施しました。

参加者 65 人中、28 人の方から回答をいただきました（回答率 43%）。

【開催案内】

https://www.issj.net/kenkyuu/2024_gov4/2024_gov4_240831annai.pdf